

CSR活動 コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス

日清医療食品は、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの強化を、CSR経営の基盤と位置づけ、さまざまな取り組みを推進しています。

コーポレート・ガバナンスの強化

ワタキューグループ基本方針と、社是である「心」に則り、ステークホルダーの皆様の「心」を尊重し、「企業の公正性・透明性の向上」「意思決定プロセスの徹底」「コンプライアンスの徹底」の3つをテーマにコーポレート・ガバナンスの強化に努めています。

内部監査体制

日清医療食品の内部統制室は、全国の17カ所の支店および日清医療食品のグループ会社、本社各部室に対して年1回、監査を実施しています。関連法令、社会諸規程の遵守にとどまらず、ワタキューグループ基本方針と社是「心」に基づく、より健全な内部統制環境の構築を推進しています。そのための最も重要な施策として、ご契約先事業所に訪問して現場の声を伺い、発生するリスクへの「早期発見・正しい対応」に努めています。

コンプライアンスの徹底

現在の企業を取り巻く社会環境において、業務遂行に直接関係する法令を遵守するだけでは信頼や共感を得ることはできません。特に当社は業界のリーディングカンパニーであることから、他社に比べて高い水準の倫理行動が求められています。

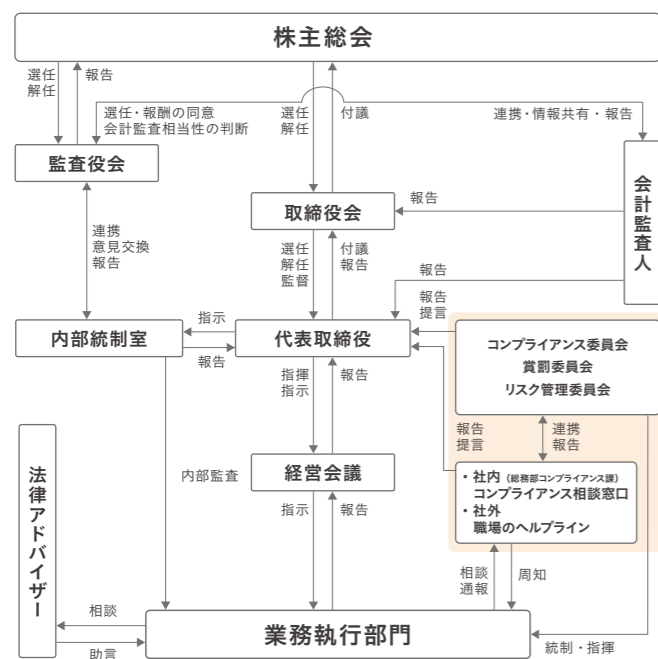
こうした認識をもとに当社では、会社の諸活動に関わる法令や当社の基本方針、定款・規程・社内ルール、さらには広く社会規範も含めた「規範の遵守」を必要としています。そしてこれらを実践するために、毎年、コンプライアンス・プログラムに基づき研修等を実施しています。

また内部通報制度を適切に運用するため社内・社外に社員相談窓口を設置し、問題への早期発見・早期対応に努めています。

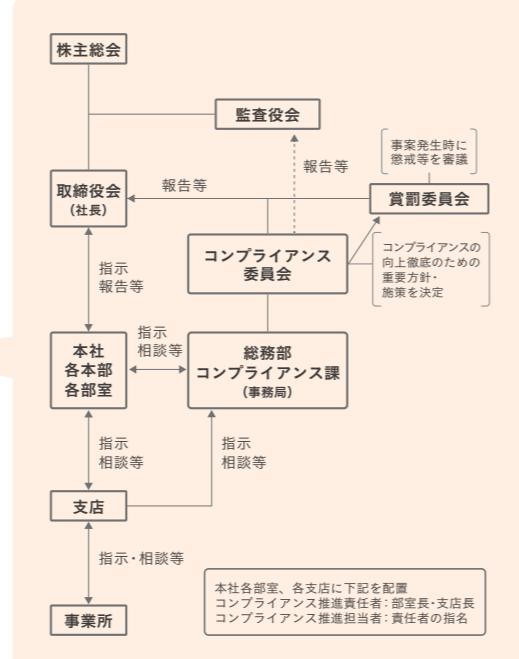
基本となる考え方

事業に関わる多様なステークホルダーの皆様と健全な関係を保ち、持続的に成長するためにワタキューグループ基本方針と「四つの約束」を定めています。また「コンプライアンス憲章」を定め、全社員を対象にコンプライアンスに関するパンフレットの配布や研修を実施しています。

企業統治体制



コンプライアンス体制



CSR活動 災害対策

日清医療食品では、365日欠かさず安定した食事の供給を実施するために、「4つの柱」を軸に、緊急時の現場の支援活動を行っています。

日清医療食品の災害対策4つの柱

通信手段の強化

社員の安否確認と同時に、ご契約先事業所でのインフラ状況を確認できる安否確認システムを導入。災害時にご契約先事業所の状況を把握することで、迅速な対応を行います。また、本社・支店・営業所・セントラルキッチン(以下、CK)での連絡体制を確立するため、携帯電話より耐震性があり、災害時でも通話制限を受けないMCA無線を導入しています。

電源確保

災害等の停電時に必要な電源(MCA無線、安否・ライフライン確認システム等)を確保するため、蓄電池を本社・支店・営業所・CKに設置しました。



災害時対応マニュアル

東日本大震災以降にマニュアルを刷新し配布。また、対策の適宜見直しのため定期的に災害対策委員会を開催し、訓練等を実施しています。

非常用備蓄倉庫の設置

全国各地(北海道から沖縄まで)の倉庫に「非常用備蓄品」を設置。ライフラインが寸断されてもスムーズに食事を提供できるよう、非常用品を備蓄しています。

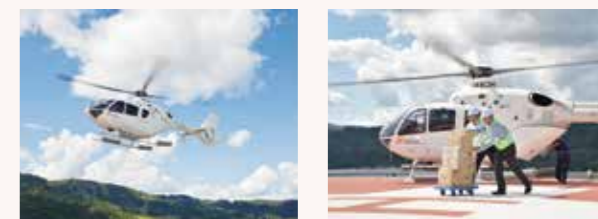
- 非常用備蓄品
- 1. 備蓄用水(2L)
 - 2. ディスポ蓋付汁椀
 - 3. カセットコンロ
 - 4. カセットボンベ
 - 5. 食品用ラップフィルム
 - 6. ガソリン缶
 - 7. プラスチックコップ
 - 8. 先割れスプーン



ヘリコプターの運用

地震等の被害によって陸路が寸断された場合、陸上の搬送ルートが使えない状況となります。そのためヘリコプター会社と契約し、災害状況、支援物資量に合わせたヘリコプターによる物資搬送を可能にしています。

ヘリコプター会社 ヒラタ学園



災害時献立の考案

災害時、食料品の確保は重大な課題です。電気・水道・ガスのすべてのインフラが寸断された場合でも食事サービスの提供が継続できるように、災害時を見込んだ献立の準備および食材の備蓄をしています。

